使用上の注意

安全にご使用いただくための警告と注意　安全上の注意表示

本装置の使い方を誤ると火災や感電などの事故を起こす恐れがあります。お客様の身体や財産に損害を与えないため、重要な事項を下記の表示で表しています。保守管理ご担当の方は、この取扱説明書を手近な所に置き、製品が正しく使われるよう遵守し、保守管理してください。

⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うような切迫した危険があることを示しています。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷の発生が想定されることを示しています。

重　傷／失明・感電・けが・やけど・骨折・中毒などで、後遺症があるもの、また、治療に入院や長期通院を要するものを指します。
傷　害／治療に入院や長期通院を要さない感電・けが・やけどなどを指します。
物的損傷／家屋・家財・設備機器・及び家畜・ペットなどに関わる拡大損傷を指します。

⚠危険

●装置の蓋を取ったり、分解・改造はしないでください。
本体の内部は高圧電源を使用しているため、感電して死亡する恐れがあります。※修理は販売元におまかせください。

●本体を落としたり、強い衝撃を与えた場合は使用を中止し、販売元までご連絡ください。
本体内部のオゾン発生体が破損した状態で使用すると、火災や感電して死亡する恐れがあります。

⚠警告

●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。また、電源コードを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜いてください。

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V50/60HZ以外での使用はしないでください。
火災や感電の恐れがあります。

●電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。
傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねる、はさみ込むなど電源コードを傷つけると、漏電や感電の恐れがあります。 ※電源コードを破損した場合の修理は販売元にご相談ください。

●本体に水をかけないでください。本装置は防水、防滴の仕様になっていません。
故障や漏電、感電の原因になります。

●電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。
ほこりなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の原因になります。

●電源コード接続アダプタ・電源プラグは、差し込み口に根元まで 確実に差し込んでください。
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。
※傷んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

●「仕様」に記載されている内容外で使用しないでください。
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。
※傷んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

●換気のできない場所で運転しないでください。
密閉された空間は、オゾン濃度が高くなり過ぎ気分が悪くなる恐れがあります。

●オゾン発生中に吹き出し口から、息を直接吸い込まないでください。
吹き出し口から出る高濃度オゾンを長時間吸うと人体に傷害を与える恐れがあります。

●電源コードは必ず専用のものをご使用ください。
また附属の電源コードを他の製品で使用しないでください。
故障の原因になります。

⚠注意

●湿疹、皮膚炎（かぶれ、ただれ）等の皮膚障害のある時は使わないでください。
●かぶれ、刺激等の異常が出たら使用を中止し、皮膚科へ相談してください。
使い続けると症状が悪化することがあります。
●オゾンフォームが目に入った時は、すぐに十分洗い流してください。

●本体を傾けないでください。
●フォームクリーン活性液に載っている注意事項に従って使用してください。
●子供が使用する時には、保護者の監督のもと使用してください。

オゾンに関する注意事項

フォームクリーンは、高濃度のオゾンによって高い除菌、消臭効果を得る商品です。そのため、人やペットなどの動物がいる空間ではオゾンは発生させず、人やペットなどの動物がいない状態でのみご使用ください。また、ご使用後はオゾン臭が消えてから乗車・入室してください。急いで車や部屋をご利用になる場合は、十分な換気を行ってください。（換気のために乗車・入室しても短時間であれば影響はありません）

気中オゾンの生物への影響

濃度 [ppm]	生物への影響	備　考
0.01～0.03	ほとんど臭わない	自然界の日中の濃度
0.04～0.06	さわやかな臭い、オゾンの臭いがある	海岸・山（晴天の夏AM2:00）
0.06	これ未満は慢性肺疾病患者の肝機能に影響なし	オキシダント環境基準
0.08	不快感がある、のどが痛い、目がチカチカするなど	不快基準
0.10	人体への影響（のどが痛い・鼻が痛い・目が痛い）	日本産業衛生協議会 許容動告濃度USA環境基準
0.60～0.80	頭痛・せき・呼吸困難	
0.50～1.00	呼吸障害・モルモットの寿命短縮	
1～2	2時間暴露で、頭痛・胸部痛など	
5～10	呼吸障害、脈拍増加など	

●天然ゴム類は高濃度オゾンに触れると劣化しやすいので、直接触れないようにご注意ください。シリコン（Si）・アクリル（ACM,ANM）・エチレンプロピレン（EPD,EPDM）・ブチル（HR）の各ゴムは、ある程度オゾン耐性が認められています。フッ素（FPM）は高濃度のオゾンに直接触れても耐性があります。
●錆びやすい品物は高濃度オゾンに直接触れると、錆が促進されますのでご注意ください。塗装皮膜・油脂皮膜のない鉄製品などは、オゾンの酸化作用で錆の進行が促進されます。アルミ製品・ステンレス製品は一般的にオゾン耐性があります。SUS304・SUS316は高濃度オゾンに直接触れても耐性があります。
●オゾンの酸化作用・漂白作用で装飾性を損なうおそれがありますので、貴金属製品など貴重品はオゾンに直接触れないようご注意ください。
●皮革製品は基本的に影響ありませんが、一部に質感が変化する場合がありますのでご注意ください。

上記の表は下記文献を抜粋引用させていただきました。
参考文献:「新版オゾン利用の新技術」サンユー書房　平成5年2月　382頁　表11-41／「有害管理のための測定法」労働科学研究出版部　1969年　102頁

仕様

製品名／型式番号：フォームクリーン／FC-100
オゾン発生量：100mg/h
フォームクリーン活性液使用量：0.4cc/sec
運転モード：自動:少（2秒間）、中（6秒間）、多（10秒間）／手動
電源電圧：AC100V　50/60Hz
消費電力：停止時 2W　泡生成時 19W
外形寸法：280(W)×190(D)×280(H)mm
重量：本体約7kg（液含まず）

※この商品は薬事法における医療用具ではありません。
※上記仕様及び外観は許可なく変更することがあります。

アフターサービスについて

保証書

保証書は必ず「販売元・購入日」等の記入をご確認の上、大切に保管してください。
（保証期間／ご購入日から1カ年）

修理を依頼される時

保証期間中は製品に保証書を添えて、お求めの販売元までご持参ください。保証期間が過ぎている場合は、お求めの販売元にご相談ください。本製品の補修用部品は製造打ち切り後8年を目安として保有しております。その期間は原則として修理をお引き受け致します。

緊急連絡先　販売元またはご自身で緊急連絡先をご記入ください。

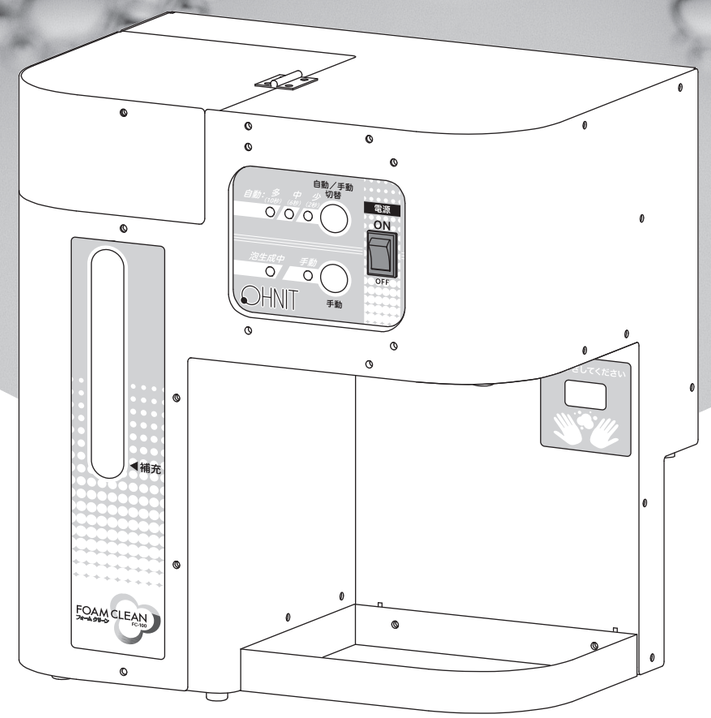
会社名
部署名
担当者名
電話番号
FAX番号

■開発・製造元
オーニット株式会社　〒709-0721 岡山県赤磐市桜が丘東3丁目3-765
TEL086-995-9155　FAX086-995-9156

図番／Z02-FC100-601-2

OHNIT

FOAM CLEAN
フォーム クリーン　FC-100

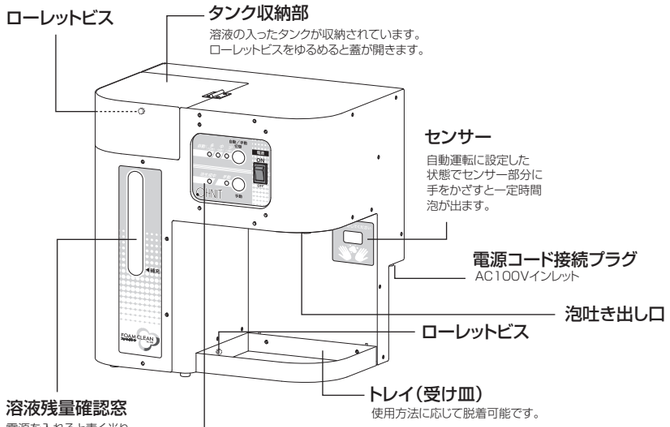


このたびはオゾン発生装置『フォームクリーン』をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。 万一、取扱いを間違えますと事故や故障の原因となります。ご使用の前に、この取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。 また、この取扱説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

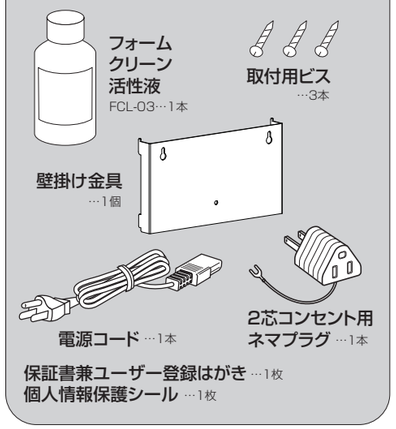
取扱説明書

ご使用の前に
必ずお読みください。

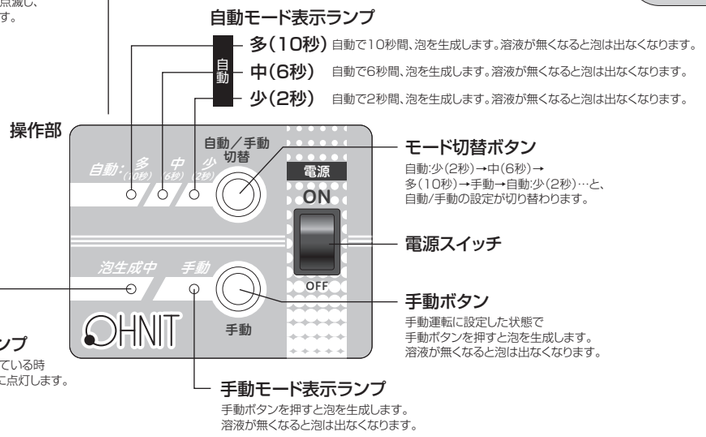
本体名称及び付属品



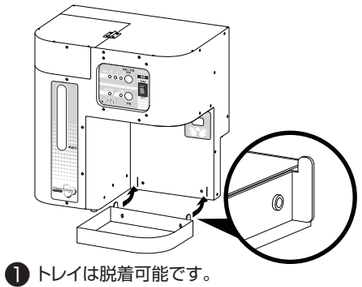
付属品 取扱説明書(本書) …1枚



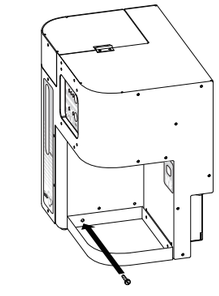
保証書兼ユーザー登録はがき …1枚
個人情報保護シール …1枚



使用方法

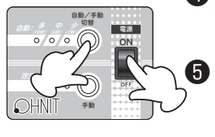


❶ トレイは脱着可能です。
トレイを取り付ける場合は、トレイの
フックを本体の穴に引っ掛けます。



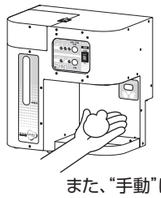
❷ トレイ脱着用ローレットビスで
本体にトレイを固定します。

❸ 電源コードを本体と
コンセントに差し込みます。



❹ 電源スイッチをONに
します。

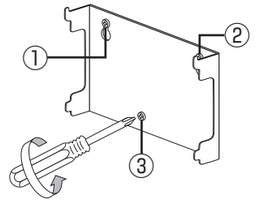
❺ モード切替ボタンで、
“自動(少、中、多)”または
“手動”に設定します。



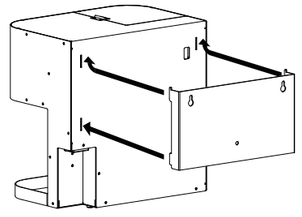
❻ “自動”に設定
した状態で
センサー部分に
手をかざすと
泡が出ます。
また、“手動”に設定した状態では
手動ボタンを押すと泡が出ます。

※はじめて使用する際、またはしばらく使用していなかった際、泡が出ない場合があります。
手動に設定して、手動で泡が出るまで動作させてください。

●壁面への取付方法

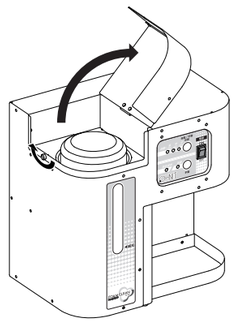


❶ 壁掛け金具をビスで壁に取付けます。

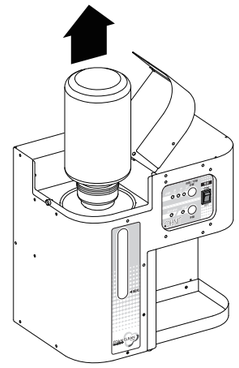


❷ 壁掛け金具のフックを
本体背面の上側の穴にひっかけます。

●フォームクリーン活性液(FCL-03)の補給



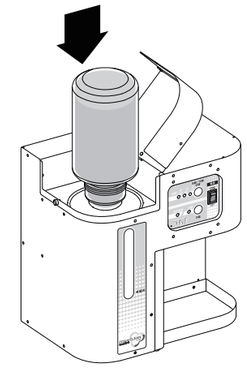
❶ ローレットビスをゆるめ
蓋をあけます。



❷ タンクを取り出します。

❸ キャップを回して取ります。

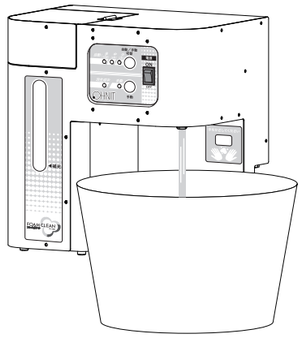
❹ タンクに活性液を
いれます。



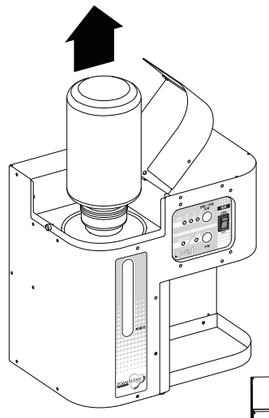
❺ タンクを戻して蓋をしめ、
ローレットビスを締めます。

⚠ ご注意 活性液の補給は、本体が安定した状態で行ってください。本体が転倒すると、液垂れし、故障の原因となります。

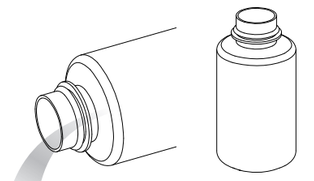
●1ヶ月以上使用しない場合



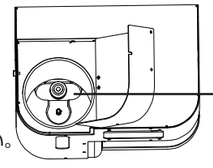
❶ 本体内部のタンク内のフォームクリーン
活性液を水道水に換え、“手動”に設定した
状態で泡が出なくなるまで手動運転をしてください。
運転時にはトレイを外し、出てくる水はバケツに
受取ってください。



❷ 泡がでなくなったら、
本体からタンクを取り出し、
タンクがセットされていた所
(A)の水を拭き取ってください。



❸ タンク内の水は捨て、
水洗いして保管する。



(A)
タンクを取り出し、水を
タオルにしみ込ませて
拭き取ってください。

トラブルと対策

トラブルの内容	原因または症状	対　応
電源が入らない (液体残量確認窓のランプや モード表示ランプが点灯していない。)	● 電気がコンセントまで達していない。 ● 電源プラグが抜けている。 ● 本体に電源コード接続アダプタが 差し込まれていない。 ● 電源コードが断線している。	● ブレーカー等を確認してください。 ● プラグを差し込んでください。 ● 電源コード接続アダプタをしっかり 差し込んでください。 ● 電源コードの交換修理を行ってください。 修理のご用命は販売元までご連絡ください。
泡が生成されない	● 溶液残量確認窓が青く点滅している。 ● はじめて使用する。またはしばらく使用して いなかった。	● 活性液が切れているので、補充してください。 ● 手動に設定して、手動で泡が出るまで動作 させてください。

上記以外の症状や上記の処置でも正常に動作しない場合、本体内部から大きな音がする などの異常が生じたら、使用を中止し、販売元までご連絡ください。